

昭島市長選挙 選挙公報

平成24年10月14日執行

昭島市選挙管理委員会



きたがわ 無所属
北川 じょういち

社会経済環境が大きく変化する中、行財政改革を更に進め、「人間尊重」と「環境との共生」を理念に、より安全で、安心して暮らせる元気な自立都市「あきしま」を市民の皆様とともに創りあげてまいります。

健康と福祉の充実では
・保育園の待機児解消、子育て環境の整備に努めます。
・特別養護老人ホームの整備を促進し、待機者の解消に努めます。
・斎場機能を併せ持ったコミュニティ施設（松原町コミュニティセンター）の建設を行います。
・予防接種やがん健診の充実を図り、市民の健康の保持増進に努めます。

教育・文化等の充実では
・教育推進計画の着実な推進により、特色ある学校づくり、そして学力の向上を目指します。
・スクールカウンセラーの配置や教育相談事業、教員研修を通して、いじめや不登校の解消を目指します。
・社会教育複合施設（図書館・郷土資料館）の整備を進めます。

安全・安心なまちづくりでは
・都市計画道路3・4・2号、拝島駅南口の周辺整備を進めます。
・立川基地跡地の良好な市街地整備と、東中神駅橋上駅舎化や自由通路の整備を進めます。
・引き続き東日本大震災の被災地・被災者支援に努めつつ、地域防災計画の改定を行います。
・引き続き公共施設の耐震化を進めます。

産業の活性化では
・産業振興基本条例・産業振興計画に基づき、活力ある産業の振興に努めます。
・フードグランプリ開催などにより、本市の特色を生かした商品開発や販売に向けた地域ブランドの確立を図ります。
・あきしま就職情報室の活用を図り、就労者支援に努めます。

行財政改革では
・徹底した行財政改革の推進により財源の確保を図り、自主自立の行財政運営の確立に努めます。
・事務事業の見直し、委託化や民営化などにより、市役所の一層のスリム化を行い、市民サービスの維持向上を図ります。

未来につなぐ元気都市の実現に向けて

略歴

●多摩保育園から昭島市立東小学校、桐朋中、高等学校、慶應義塾大学経済学部卒業、会社員、会社役員
●昭和五十四年五月より昭島市議会議員五期十七年間、平成七年五月より平成八年八月二十二日まで昭島市議会副議長
●東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員
●平成八年十月二十一日より昭島市長、現在に至る
＜主な役職＞
●東京都市長会会長、東京都市長会会長、東京都市長会顧問、全国基地協議会理事、防衛施設周辺整備全国協議会副会長、東京市町村総合事務組合管理者、東京都八市競艇事業組合管理者

推せん

新時代の昭島をつくる会
自由民主党
公明党
連合東京
民主党東京都第21区総支部 ほか



無所属 日本共産党推せん

えがわ かつのり
勝則

市民の命・くらしを守るべき市政は、国いいなりで「自立・自助」を強調し、国保税や介護保険料の相次ぐ負担増や福祉カットを進めてきました。
私は、不要不急の事業見直し、税金の無駄遣いをやめて、財源を確保します。大震災や原発事故を教訓に、『防災・くらし』こそ最優先に市政の流れを転換します。
私は、原発も増税もノー、市長退職金を返上し、市民のくらしに役立ちます。

約束します

防災・くらし 最優先の昭島を

防災

●個人住宅、集合住宅、福祉・医療施設などの耐震化促進。
●耐震性貯水槽の整備など消火体制の強化。
●避難場所や食料提供となる農地・緑地を守ります。
●特別養護老人ホームや認可保育園の増設。

くらし

●小中学生の医療費完全無料化。
●国民健康保険税・介護保険料の減免制度の拡充。
●放射能から子どもたちを守り、原発ゼロにつながる自然エネルギーの導入をすすめます。

環境

●騒音被害をなくし、横田基地のな

市民の声を聞く昭島市政にきりかえます
●市長室を一階に移します。市民と直接対話し、市民の声を聞く市役所に。
●市政情報を公開。市長退職金を辞退します。

市民目線で、政府にモノ言える市政にきりかえます
●消費増税には反対です。原発ゼロの実現に脱原発首長会議に参加します。
●オスプレイの飛来に反対し、沖縄、岩国と連帯します。

政治の流れを昭島から変えていきます
（市民参加で住みよい昭島をつくる会）

原発も増税も市長退職金もいりません

昭島の未来を託そう この一票に!!



投票時間は午前7時から午後8時までです。

☆☆☆仕事や旅行、レジャーなどで投票日に行けない方は☆☆☆

期 日 前 投 票

市 役 所 10月8日(月)～10月13日(土)
午前8時30分から午後8時まで

市民交流センター 10月10日(水)～10月12日(金)
午前9時から午後7時まで